

週間感染症情報

28週 29週 30週

2026年28週～30週 2026年7月6日より2026年7月26日まで

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)			3
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	2	5	14
手足口病	25	13	1
ヘルパンギーナ	22	4	6
伝染性紅斑			
感染性胃腸炎	26	29	22
ロタウイルス(再掲)			
ノロウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	5	0	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	9	4	6
ヘルペス性口内炎	1		
アデノウイルス感染症	1		
RSウイルス感染症	2		
マイコプラズマ感染症	3	3	3
ヒトメタニューモウイルス	1	2	2
インフルエンザ	0	0	1
インフルエンザ A			1
インフルエンザ B			
新型コロナウイルス感染症	0	8	9

遅くなりましたが3週間分の報告です。30週にインフルエンザAがの報告ありました。新型コロナウイルス感染症は左下のグラフのように、29週より増加し、保育園や学童などからの報告が増えています。夏の流行が始まったようです。感染力がインフルエンザ以上に強く、家族内感染で保護者も感染しています。幸いなことに、小児は軽症例が多いです。

右下のグラフのように、手足口病は減少して、コクサッキーウイルスA6型による流行は終息しました。

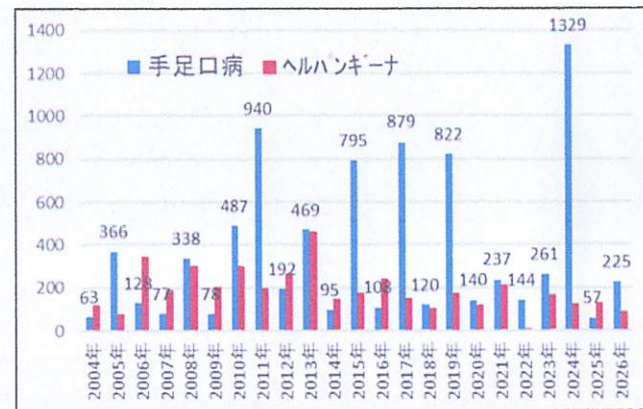
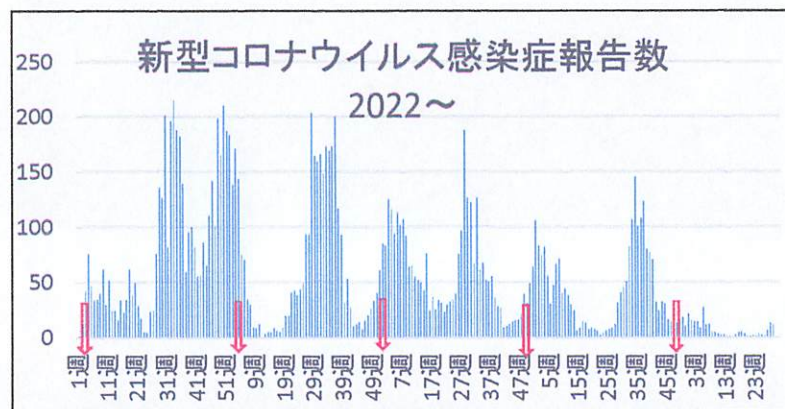
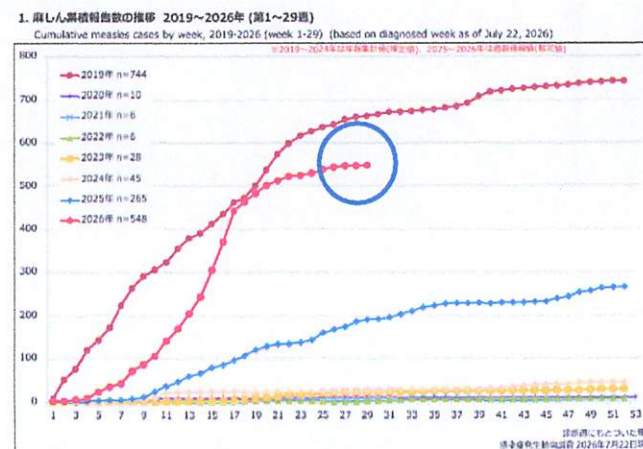
右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は感染力が強く、特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2026年は、29週までに548例と、報告数は一時より減少していますが、夏休みに入り海外からの輸入例が心配されます。

麻疹はワクチンで予防できる病気です。接種歴を確認しましょう。

年長さんは、夏休み中にはMRワクチンを接種しましょう。

RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマ感染症の報告は続いています。関連して喘息の症例が増えています。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子